

陵水会の活動方針と事業計画(2026年度)

〔Ⅰ〕活動の基本方針

(1)大学を取り巻く厳しい環境変化に対応した的確な支援

- ・大学のポスト 100 周年計画と擦り合わせ、陵水会からの支援策を再精査
- ・共同研究などの斡旋を通じ、産学の連携推進を引き続き全面サポート
- ・1年制大学院、経営分析学専攻(MBANコース)の支援
- ・グローバル人材育成に向けた継続支援

(2)ポスト100周年を見据えた組織力の強化

- ・若手～中堅層及び女性会員の活力引き出し
―― Next Ryosuiの活動を継続

(3)財務基盤安定強化

安定した財政基盤の確保

- ・年会費を2026年度から3千円を4千円に、入会金を2027年度から25千円を35千円に改定
- ・大学の同研究契約の締結にかかるコーディネート業務委託契約締結による増収
- ・年会費の納入納付率向上のための方策を引き続き検討
- ・クレジットカード(陵水会カード)の導入を引き続き検討

〔Ⅱ〕大学支援・連携・交流事業

～各活動強化委員会の一層の充実～

(1)産学連携の強化、促進を引き続き全面サポート（主担当:企画委員会）

- ・産学連携を一層推進するため、引き続き有力企業を発掘、斡旋
- ・文理融合教育の更なる充実のために、「一年制大学院」などを支援

(2)グローバル人材育成に向けての支援継続（主担当:教育支援委員会）

- ・海外留学奨学金の給付

(3)魅力あるOB協力講義の継続（主担当:若手交流委員会）

- ・リーダーシップ論に代わる特定領域講義Aの支援

(4)就職支援（主担当:若手交流委員会）

各種就職相談会の開催 ―― 講師派遣や開催諸経費の補助

- ・陵水懇話会(担当:大学48回卒業生)
- ・全国陵水会計人連合会による学生説明会
- ・女子学生のための陵水キャリアガイダンス
- ・NextRyosuiの主要活動拠点である「滋賀大学コミュニティ・プレイス@東京・汐留 KC BASE」の運営補助金(10万円)

(5)陵水ゼミナール特別支援制度の継続実施（主担当:教育支援委員会）

- ・講師謝金・交通費の援助

(6)企業研究訪問援助制度の継続実施(主担当:教育支援委員会)

- ・学生、引率教員の交通費援助

(7)陵水会活動の更なる情報発信力の強化(主担当:広報委員会)

- ・陵水会年報に加え、ホームページ、NextRyosuiホームページ・公式LINEなどの充実

〔Ⅲ〕陵水会事業

(1)若手会員(含準会員)の陵水活動への積極参加を促し、組織の足腰強化と活性化に注力

- ・引き続き、学生、若手会員との接点拡大に努め、陵水会に対する啓蒙活動を展開
- ・Next R yosui活動推進により若手会員との交流を活発化
- ・彦根キャンパスの新入生オリエンテーションに参加
—— 伝統の啓蒙と陵水会への誘い

(2)年会費納入強化運動の延長と寄付金の取り込みに注力

年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025(見込)	2026(目標)
納入者数	2,377名	2,136名	2,300名	2,081名	2,415名	2,427名	3,000名

- ・2016 年から開始したコンビニ振込等を継続
- ・新卒者への口座引落申込書の発送を継続
- ・支部総会、同期会、クラブOB会等の場を利用し一層協力を呼び掛け
- ・遺贈資金の獲得について本格的検討

(3)陵水会年報の発行

2026年10月1日付発行を予定

- ・陵水会事業等の概要掲載
- ・年会費納付者、寄付者の掲載

(4)支部活動活性化・支部間格差解消に向けての支援

- ・支部助成金の交付(支部総会を開催した支部に交付)
- ・支部総会開催支援(開催祝金の支給)及び本部役員の出席を依頼
- ・支部総会講演援助(講師謝礼補助金の支給)
- ・支部総会案内状発送時のサト名簿購入代金の支援(基本料金(年 1 回)を支給)

(5)陵水会同期会の奨励開催

- ・事務局への事前連絡と終了後の年報報告を前提に祝金(1万円)支給

(6)第17回陵水会ゴルフコンペの開催

開催日時:2026年6月5日(金)

場所:彦根カントリー倶楽部

当番:東京支部